

藤友



2012

夏号 No.383



取締役会長 高 藤 昌 和

「現在」 「過去」 「未来」

最近は「今さえよければ、それでいい」という刹那主義が目につきます。

今の問題を先送りにしても、今が楽しければそれでいい。

今豊かに生きられるならそれでいいという生き方です。

それは政治にも経済にも、社会にも蔓延しています。

今という現実突然現れたのではなく、過去の因と縁が果報としてあるわけで今の因縁が未来の果報となって現れます。

「過去」からつながる「今」であり「未来」につながる「今」なのです。

だから、「今」を最善に生きるには、十年前、百年前、そして十年後、百年後のことを想わなければなりません。

「次に来る旅人のために泉を清く保て」という言葉がありますが、「エネルギー」「社会保障」「年金」「産業再生」「国防」「教育」他人事ではありません。

我々は「自由」を求めるあまり「責任」を忘れてしまった気がします。

責任なき自由があるように錯覚を抱き、過去からの流れを無視して今だけを感覚的に生きているのです。

どんな立派な企業でも現在に至るまでには、先人達をはじめ多くの方々のお蔭があり、現在につながっているのです。

その事を想い、感謝の気持ちを忘れてはいけないのです。

「今」を生きるとは過去と未来を切り離れた「今」ではありません。悠久の過去から永遠の「未来」につながった「今」なのです。その事を真剣に考え対処する事が必要です。



2012/7/2

安全祈願



皆さん、ご安全に
ゼロ災害を目指して、日夜、安全に努める皆さん、ご苦労様です。

今年も「ルールを守る安全職場、みんなで目指すゼロ災害」のスローガンのもと、第85回全国安全週間を迎えました。

皆さんの努力で、我が社も昨年度のゼロ災害を実現し、今年度も現在まで、無災害を続けています。心から感謝申し上げます。

災害は、寸時の油断も許されません。

重大災害の3分の1は、依然として建設業が占めるなど、危険な職場環境とされています。

この安全週間を機に、さらに安全の重要性を認識し、安全衛生の水準の一層の向上を図り、災害ゼロの安全な明るい職場づくりにベストを尽くしましょう。

「慣れるほど 基本を守って 無災害」

高藤建設株式会社

代表取締役社長 高藤 元太郎

2012/7/4

本社安全大会

平成24年度の安全大会を7月4日(水)に門司体育館で、今回から社員・協力会の会員会社に加え、会員以外で現在施工中の現場に携わっている協力会社も参加し、合計93名で開催しました。

記念講話として、中村労働安全衛生コンサルタント事務所の中村義昭様に「墜落防止・脚立災害・熱中症対策・労災情報」と題して、労災事故のビデオを交えて、講話をいただきました。

最後に社員、協力会会員の代表による安全宣言で、参加者一同無事故無災害を誓い閉会しました。

平成24年度 安全表彰受賞者

無災害現場

ナフコ北九州第二物流センター新築工事 ほか15件工事

高藤建設株式会社の部

優良賞 河 崎 竜 市

努力賞 久 田 貴 文
中 維 哉
佐々木和也

高藤建設安全衛生協力会の部

社長賞 (有)牛浜産業 牛浜一美 様

協力会 会長賞 鹿島道路(株) 木田公友 様
(有)杉山鉄筋工業 升本喜代志様
久能組 久 能 潤 二 様
大生産業(株) 小田大輔 様



記念講話 中村義昭 様

2012/6/28

大阪支店安全大会・安全衛生協力会関西支部総会

平成24年6月28日(木)支店会議室において、支部総会及び安全大会を「ルールを守る 安全職場 みんなで目指す ゼロ災害」のスローガンのもと協力会社と社員の参加で開催いたしました。

村井支部長、鳥越支店長が挨拶を行い、林副支店長が社長の安全週間メッセージ代読と続き、安全表彰では東洋シャッター(株)様に支店長賞として賞状と金一封が贈られました。

最後に無災害工事現場表彰で努力賞を受賞した杉主任が安全宣言で無災害を誓い、シュプレヒコールで閉会しました。

今後も協力業者の皆様と一丸となって、無災害目標1000日達成に向けて前進していきたいと思います。

【大阪支店 森田】



2012/6/29

福岡支店安全大会・安全祈願・安全衛生協力会福岡支部総会

平成24年度安全大会を6月29日(金)、櫛田神社での安全祈願の後、「ルールを守る 安全職場 みんなで目指す ゼロ災害」のスローガンのもと支店会議室で協力会社25社、社員16名参加で開催しました。

土佐支店長の挨拶、濱島主任の社長メッセージの代読と続き、安全表彰では支店長賞に(株)トーヨー様、支部長賞に(株)久留米鉄工の西山裕様、他4名の表彰が行われました。

昨年、福岡支店では本工事、CS工事を含め452件の工事を施工しておりますが、無事故、無災害を達成しております。

安全週を迎え、改めて協力業者の皆様と力を合わせゼロ災害の継続を決意いたしました。

【福岡支店 千々和】



2012/5/25

安全衛生協力会総会

平成24年度「高藤建設安全衛生協力会 第44回定時総会」をお得意様の下関グランドホテルにて開催しました。会員数52社、出席46社、委任状6社、規約第4章第13条2項過半数の出席をもって成立しました。

議案審議については次の通りです。

第1号議案 平成23年度事業報告

第2号議案 平成23年度決算報告
監査報告

第3号議案 平成24年度始業計画審議

第4号議案 平成24年度予算審議

第5号議案 役員改選

以上5議案満場一致で可決されました。

【建設部 吉浦】



CS工事

リフォーム・リニューアルのことなら ご気軽にご相談ください。

今、建物のことでお困りのことはございませんか？CS事業部では、本社同様、各支店でもお客様のニーズにお応えするために、きめ細やかなサービスを提供致します。ご一報いただければ、熟練したスタッフが対応させていただきます。

本社：093-381-0461

大阪：06-6953-2180

福岡：092-473-0525

改修前



外壁改修



改修後



模様替え



間仕切り変更・内壁補修



夏の交通安全県民運動

7月10日から今年も夏の交通安全県民運動が始まります。

今年のキャッチフレーズは「飲酒運転は絶対しない！させない！許さない！」です。福岡県は飲酒運転検挙率が高く、飲酒運転の撲滅が運動の最重点課題です。飲酒運転の代償は、厳しく、社会的制裁、経済的制裁を充分認識しましょう。

そのほかに、子どもと高齢者の交通事故防止、自転車の安全利用の推進が運動の重点になっています。交通災害は会社にとっても個人にとっても、また加害者、被害者になってもその代償は非常に大きくなります。「ご安全に！」をキャッチフレーズにわが社も全社を挙げて交通事故防止に取り組んでいます。



戸畑港運輸北浜倉庫

▽ 発注者	戸畑港運輸株式会社 様
▽ 設計	アンヨウジ エンバイロメンタル ワークス 様
▽ 工期	平成23年12月14日～平成24年4月30日
▽ 規模	鉄骨造平家建 延床面積5,438.16㎡
▽ 工事場所	北九州市



《完成して一言》

若戸トンネルのすぐ傍に2棟の大型倉庫が完成しました。ラック倉庫には超大型の自動ラック機械を配置。

コイル倉庫には30tと20tのホイスト式クレーンを設置し、機能性・交通網も含め多彩なニーズに応えられる倉庫です。

【建設部 河崎】

中原保育園

▽ 発注者	社会福祉法人 北九州市戸畑民生事業協会 様
▽ 設計	株式会社 小林建築設計事務所 様
▽ 工期	平成23年11月15日～平成24年6月15日
▽ 規模	鉄筋コンクリート造2階建 延床面積851.40㎡
▽ 工事場所	北九州市



《完成して一言》

外観は、白や薄いベージュ色の吹付タイルを基調とし、黄色・ピンク・水色などをポイント色として使用しています。また玄関部分にはモダンなタイルを張って、大変可愛い保育園が出来上がりました。

内部は、木製建具やフローリングをナチュラル調で統一しています。玄関は大きな吹抜け、2階の廊下には何色も施したガラスブロックがあり、大変明るい色合いで仕上がっております。

【建設部 佐々木】

モンリク本社倉庫

▽ 発注者	株式会社 モンリク 様
▽ 設計	高藤建設株式会社 一級建築士事務所
▽ 工期	平成24年2月20日～6月15日
▽ 規模	鉄骨造平屋建 延床面積2114.44㎡
▽ 工事場所	北九州市



《完成して一言》

新たな拠点として本社・倉庫敷地内に、湿度・温度を管理できる定温倉庫・一般倉庫・サーバー洗浄用倉庫を完備する施設が完成しました。

各倉庫には出入りが容易に出来るよう大型の出入口を設け、既存倉庫との作業動線を考慮した計画になっております。

【建設部 田中】

土井デイサービス

▽ 発注者	有限会社因幡荘 様 ヒューマンライフケア株式会社 様
▽ 設計	すが建築設計 様
▽ 工期	平成24年3月15日～6月30日
▽ 規模	木造平屋建 延床面積240.49㎡
▽ 工事場所	福岡市



《完成して一言》

工事期間中は、施主様をはじめ近隣住民の皆様方のご理解と、ご協力を賜り、無事故・無災害で完了する事ができましたことを心より厚くお礼申しあげます。

【福岡支店 安井】

2012/7/1~7

全国安全週間作品結果

標語の部

1 位

慣れるほど 基本を守って 無災害

2 位

急ぐ時 慌てた時こそ 再確認 !!

3 位

「安心」とホッと一息 潜む事故

佳作

危険個所 誰かに任せず すぐ是正

佳作

日常の リスクを確認 危険予知

佳作

広めよう 一人一人の 安全意識

大阪支店

荒木 祥匡

福岡支店

千々和 幸輔

管理部

横山 信之

事務センター

座木 恵子

大阪支店

古賀 忠司

福岡支店

森 沙織

出品総数 63名

ポスターの部



金賞

建設部 江木一雄



銀賞

大阪支店 山平智也



入選

社員家族 江木結子



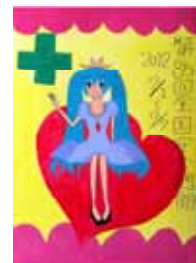
入選

社員家族 河崎泰成



入選

社員家族 江木加代子



入選

社員家族 河崎朋子

バッチの部



金賞

管理部 井上宏子



社長 高藤元太郎



取締役 萬田恵一



事務センター 座木恵子



事務センター 高良しおり



管理部 栗原京子



大阪支店 古賀忠司



福岡支店 宇佐見拓也



大阪支店 金子俊文



管理部 横山信之



ADD室 加藤葉子



建設部 吉浦隆市



大阪支店 宮崎和一



大阪支店 鳥上勝則



大阪支店 小川亮二



大阪支店 杉 直哉



大阪支店 後藤辰巳



建設部 江木一雄



大阪支店 荒木祥匡



建設部 因幡信一



高藤春紀



福岡支店 森 沙織



大阪支店 長尾寛人



大阪支店 山平智也



大阪支店 秋永孝博



大阪支店 測 秀次



大阪支店 林 年数



建設部 丹羽義忠



大阪支店 森本要一



営業部 大江邦彦



大阪支店 鳥越英文



大阪支店 森田将之



ADD室 豊島和司

2012/7/1~7

全国安全週間作品結果

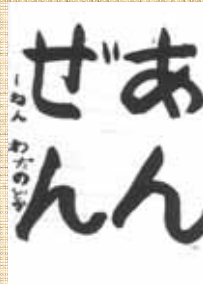
習字の部

小学校低学年の部



天賞

高藤啓太



地賞

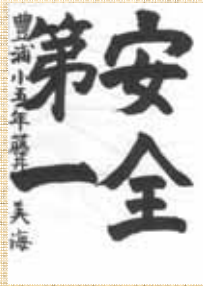
和田のどか



人賞

藤井ゆうき

小学校高学年の部



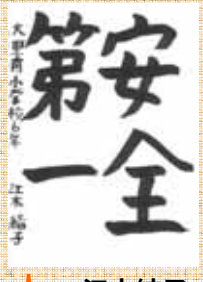
天賞

藤井美海



地賞

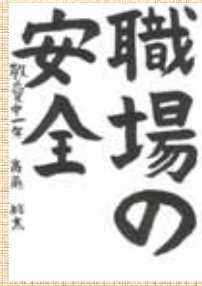
古賀裕真



人賞

江木結子

中学校の部



天賞

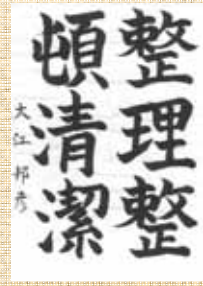
高藤裕太



地賞

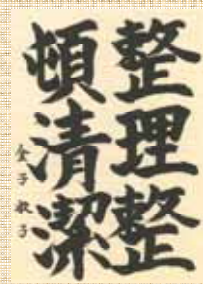
古賀健太

一般の部



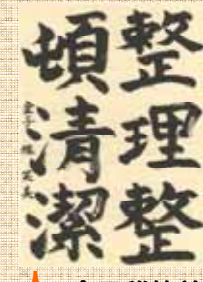
天賞

大江邦彦



地賞

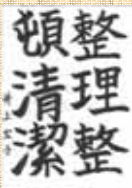
金子収子



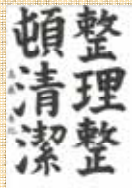
人賞

金子稚笑美

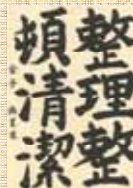
入選 一般の部



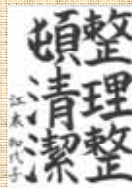
井上宏子



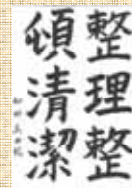
高藤春紀



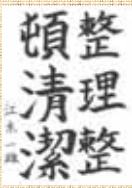
金子満里笑



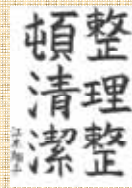
江木加代子



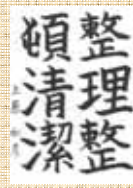
和田美由紀



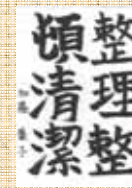
江木一雄



江木翔子



上原和彦



加藤葉子

初日は団体行動の基礎について、ベットメイキングの仕方や点呼など日々の生活に必要なことを習い、また2日目からは初日の応用、スポーツテストでは、運動不足を痛感させられました。最終日の団体行動（班ごとで行う規律行進）発表会は特に印象に残った研修でした。

これは指揮者の指示のもと、7、8名の班員が統一した行動を行うもので、指揮者の号令はその行動を左右するとても重要な役目です。それを自分が行い、とても良い経験をさせて頂きました。普段は指示を与えられて行動することが多く、指示を出す側は全体を見て、次のことを考えながら指示を出さなければなりません。普段とは違う目線で物事を見る経験ができ、とても有意義でした。

今回の体験入隊という貴重な体験を生かし、社会に貢献できるように頑張っていきたいと思います。

【設備技術部 川島祥吾】

1日目は、午後から東日本大震災へ自衛隊が派遣した時の講話を聞きましたが、その時の現地での自衛隊の活動にとても感動しました。2日目の体力測定で、腕立て、腹筋懸垂、ボール投げを行いました。隊員の方に比べ自分の出来なさに反省させられました。

この研修で、特に印象に残った事は、自衛隊の隊員の皆さんが挨拶、声の大きさ、キビキビした行動で、休憩中にも関わらず、食堂の中でもその動作は変わりなく、とてもすごいと感じました。自分も取り入れて行きたいと思いました。またこの研修で学んだことを生かして、一日も早く仕事に慣れ、将来後輩にいろいろと教えられる人材になりたいです。

【大阪支店 小川亮二】

体験入隊を通して、集団行動における団結力の大切さや時間の管理をする大事さ等、学生時代には身につけていなかった事を思い知らされ、とても良い経験になりました。4月から新社会人として新しいスタートに立った今、この経験を忘れることなく自分を向上させていこうと思います。

この研修で、時間の管理をしっかりしなければ、自由時間、食事時間も削ることになり、次のすべきことの準備もできず、時間の管理の仕方を改めて見つめなおすことが出来ました。今後の生活に役立てていこうと思いました。

私は将来、仕事をしっかりこなし、社会に多く貢献ができるようになりたいと思います。その為に今回学んだ日常生活の基本をしっかり身に付け、会社の仕事も基本からこつこつと積み重ねて行きたいと思います。

【建設部 大野正樹】

基本的な動作訓練を学び、機敏な動作を意識する事で、身の引き締まる思いがしました。意識していないとついダラダラしてしまいがちになり、仕事の上でも「なんとなく」仕事をしないようにしたいと思いました。体力測定は、腕立て伏せが1回しかできずにとっても不安をかかえたまま1500m走、直前のアップで脚も腕も重くなり、地獄のようでした。しかし周りの声援のお陰で完走することが出来とても、うれしく印象に残りました。私は「元気、勇気、根気」を持った人間になりたいと考えています。これは隊員の方からも感じる事が出来、これから生きていく上で自分を成長させる糧とし、そして信頼される人間になりたいです。2泊3日でしたが、ご指導ありがとうございました。少し自衛隊の生活を垣間見ることが出来、改めて自衛隊の方々はずいと思いました。

【事務センター 高良しおり】

初日は、とにかく寒く、正直辛かったです。2日目は、初日より少し出来るようになっていた為か、楽しく行うことができました。午後からの体力測定は、運動らしい運動は3年ぶりなので、とてもきつく感じ、なかでも1500mもとても走れないと思っていましたが、廻りの皆さんの声援で完走することが出来た時はすごく嬉しくとても心に残りました。

この2日間で、いろいろな人と交流でき、初めての経験で戸惑うところもありましたが、ここで学んだことを生かして、時間を厳守することや、社会人としてのマナーを守り、仕事を一生懸命頑張りたいです。このような研修に参加できて、すごくいい思い出になりました。

【管理部 山口夏実】



太陽光発電のシステムとは

エネルギー資源の不足が叫ばれている日本。

現在の日本では、エネルギー資源のほとんどを外国から輸入している状態です。

資源には限りがあるので使い続けていけばいずれ無くなってしまいます。

原子力発電も昨年の福島事故を契機に安全神話が崩れてしまった今、再生可能エネルギーによる発電システムが見直されています。

そこで注目されているのが、太陽の光を活用した太陽光発電です。今まで以上に太陽光発電への注目度が高まっています。

自宅などへの導入を考えている方も多いのではないのでしょうか。

しかし、太陽光発電の詳しい部分は、あまり知られていないのが現状です。

今回の「けんちく耳より話」では、太陽光発電について取り上げてみました。

太陽光発電とはどういうものか分からないまま、設備投資をして、後々になって後悔したり、トラブルが起きてしまわないようしっかりと把握して慎重に検討し、正しい判断をすることが大切です。

『太陽光発電の仕組み』

太陽光発電装置は「太陽電池」と呼ばれます。電気を貯めるわけではないので「太陽電池」というよりも「太陽発電機」の方がふさわしいかもしれません。

太陽電池は半導体の一種です。太陽光エネルギーを直接電気エネルギーに変換し、半導体が光を受けると内部に電子エネルギーが与えられ、電流が起きる性質を利用したものです。

『長所』

1. 可動部分がほとんど無いので、摩耗等による機械的な故障が起きない。
2. 規模にかかわらず発電効率が一定で小規模・分散型運用に最適。
3. 発電時に廃棄物・温排水・排気・騒音・振動などが発生しない。
4. 構成材料の大部分がリサイクル可能である。
5. 設置に必要な条件が少なく、建築物の屋根や壁等に設置でき、設置可能面積が広い。
6. 稼働に化石燃料を必要としないのでエネルギー安全保障上有利になる。
7. 温室効果ガスを排出しない。
8. 出力ピークが昼間電力需要ピークと重なり、需要ピーク電力の削減に効果がある。

『短所』

1. 設置導入時のコストが高い。
2. 従来の発電方式に比べ、発電電力量当たりのコストが高い。
3. 発電電力が天候に左右される。また、影や汚れなどで遮蔽されるとその分出力が落ちる。
※曇天・雨天時、積雪時は発電量が低下
4. 夜間は発電できず、蓄電能力がない。
5. 設置面積当たりの発電電力量が既存の発電方式に比べ低い。
6. 家屋の外観に影響する。
7. 屋根に過大な負荷がかかる。

太陽光発電には非常に多くのメリットがありますが、課題とも言えるポイントもいくつかあります。この課題に対しても、様々な対策が検討されています。蓄電池と組み合わせたシステムはすでに実用段階にあります。電気自動車を蓄電池代わりに機能させるシステムも実用実験が進んでいます。

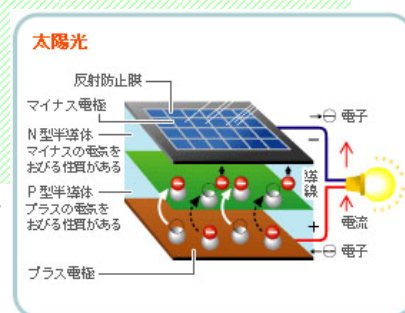
今まで、既存の電力網と組み合わせることで夜間などの電気をまかなっています。蓄電池の高性能化と低価格化が待たれますが、自宅に設置したソーラーパネルだけですべての電力がまかなえる、そんな時代も夢ではありません。

『平成24年度住宅用太陽光発電補助金について』

太陽光発電システムの導入支援補助金制度が4月19日より受付開始されています。詳しくは太陽光発電普及拡大センターホームページまで (<http://www.jppec.or.jp>)

※尚、太陽光発電システム導入による住宅エコポイントは対象外です。

(参考文献：新エネルギー財団、日本ルーフ ホームページより)



編集後記

表紙の写真は平成23年8月に小倉駅新幹線口の海側に、都心のシンボルとして、癒し、憩い、賑わいのオアシスをモチーフとした、「浅野シンボルロード」です。

音と光で演出した市内最大級の噴水や大芝生広場で、水遊びや花見、紅葉、ウォーキング等、四季を通じて楽しむことが出来ます。

また、太陽光や風力発電、冷却効果のあるミスト等を整備し、低炭素のまちを見て感ずることが出来ます。約8メートルの高さまで吹き上げる大噴水は30分おきに22:00まで、音楽とともに、夜は光とともに噴水ショーが楽しめます。

音楽は、アイネクライネナハトムジーク、威風堂々などのクラシックのほか、燃えろギラヴァンツ！などの曲が流れ、広い噴水広場では、親子で楽しむことができます。

電力不足の折、噴水、ベンチで子どもが遊ぶ姿を見ながらゆったりしてみたいはいかがでしょうか。

ただし、公園は道路に面しているため、子どもが公園外に出ないように注意が必要です。

発行

高藤建設株式会社 高藤 元太郎

北九州市門司区東新町1-1-30

TEL093-381-0461 FAX093-381-0543

<http://takafuji.co.jp>



高藤建設株式会社